

進路通信

兵庫県立北須磨高等学校 進路指導部

【49 回生の志望動向】

模試の第1志望校の集計動向をお知らせします。9月模試で志望者の多い大学上位10校を表にしています。本校の生徒の志望先はほぼ毎年、ここにある表の大学になります。どの年次でも、志望先の1位は神戸大で、国公立大では県立大+大阪公立大の合計がほぼ神戸大に匹敵します。この内訳はなぜか隔年現象で交代しますが、49回生では統合2年目を迎える大阪公立大の志望者が

	9月	7月	6月		9月	7月	6月
神戸大	40	44	43	同志社大	11	9	9
関西学院大	30	26	29	大阪教育大	7	7	7
大阪公立大	23	18	23	関西大	5	6	9
兵庫県立大	17	19	17	神戸薬大	4	3	3
神戸市外大	16	14	16	大阪大	4	4	6

が県立大を上回りました。志望1位の神戸大は年により、9月にガクンと人数を減らすこともありますが49回生では比較的堅調に維持されています。岡山大、徳島大、滋賀大などの近隣の地方大への目線がもう少しあってもいいかもしれません。今からでも遅くないので志望校選びの選択肢として考えてみてください。

例年、志望動向は面談・夏休みをはさむ7月模試と9月模試の間で動き、その後はあまり変動なく11月まで模試が続いて終了し、その後は共通テスト本番の結果を見て最終的に出願先が決まる（このときにやや変動する）、というのが本校生の志望の変化パターンとして多いものです。

志望変更が行われる場合、多くのケースでは難易度の低い大学へ変更されます。この変更が自分の志望・将来設計を十分に見据えたものであればいいのですが、目先の「合格」にだけとらわれると思わぬ失敗を招きます。難易度をあげる変更はめったにありませんが、現役合格を勝ち取った先輩の中には難関大合格の実例があります。志望校は自分の夢をかなえる第一歩です。「志望力」が衰えると、気力が失われ、良い結果を生むことは少ないです。今の数か月が、ひょっとすると将来の何十年を決めるかもしれません。天秤にかけたとき、どちらが重いですか？今、しんどい思いをすることは決して無駄にはなりません。「志望力」は最後まで維持しましょう。

【11月模試実施にあたって】

今日・明日の模試が学校で受ける模試の中では判定が出る最後のものになります。マーク模試も数回目になりますが、マーク漏れ・マークミス・マークのずれには注意しましょう。自己採点が確実にできるように、答えを修正した場合は問題用紙にも反映させてください。また、数学ではIAとIの解答間違いなどが絶対にならないように。自己採点の結果と返却結果が異なったことがある人は、今回は必ず一致させてください。

【進路指導室の利用について】（再掲）

自習室・教室・図書室等に加え、自習場所のひとつとして有効活用してください。

○利用できる時間：始業前・昼休み・放課後（都合により利用できない場合もあります。）

○利用できるもの・利用できること

- 1)書架にある本の利用 ⇒ 最新版（2023年用）以外は貸出可能。貸し出しについては先生に申し出る。先生が不在の場合は書籍貸出簿に記入の上借り出せる。利用は一泊のみ。

- 2)各種資料の閲覧

- 3)PC、ネットの利用・自習

